

ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です。

発行／岩手県高等学校PTA連合会

[事務局]盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386
E-mail iwa_koupren@ybb.ne.jp FAX(019)613-7795

平成26年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催

平成26年度岩手県高等学校PTA連合会定期総会並びに研究協議会（6月4日、盛岡市のサンセール盛岡で開催）に、67校から各校PTA会長・副会長、校長、事務局長ら約270人が出席。定期総会では今年度の事業計画を確認し、平成27年度開催の第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会（全国高等学校PTA連合会主催）に向け、本格的な準備を進めることを重点としました。内館茂県高P連会長（盛岡第一高校PTA会長）は「PTA全国大会には全国から一万人の方々が集まります。皆さんで力を合わせて最高の大会にしましょう」と呼びか



▲来年度全国高P連大会岩手大会に向けて事業計画を承認した定期総会

全国高P連岩手大会を最高の大会に!

けました。続いて表彰状の贈呈が行われ、個人表彰者60人と平成25年度県高P連第18回広報紙コンクール入賞校8校の代表者に、内館会長から表彰状が授与されました。個人受賞者代表の外谷隆司久慈高校PTA会長は「本校PTA活動には5割を超える参加があり、一つ一つの活動が成し遂げられたのも一人一人の協力があつたから」と、PTA会員や学校、地域の方々へ感謝を込めて挨拶。広報紙コンクール入賞校を代表し、水沢工業高校の阿部一憲PTA会長に表彰状が贈られ、併せて来年度の第65回全国高P連大会岩手大会のポスター（最優秀賞・盛岡一高、戸田遙さん）、シンボルマーク（最優秀賞・同、鎌田碧衣さん）の入賞者の表彰も行われました。来賓を代表し、松下洋介県生涯学習文化課総括課長、高橋廣至県高等学校長協会会長、金谷茂県PTA連合会会長から祝辞をいただきました。議事では、平成25年度の会務報告・収支決算と、平成26年度役員選出、26年度活動方針・収支予算案、平成27年度全国高P連大会に向けての取り組みなど6議案を審議し、

いずれも原案通り承認されました。今年度事業計画の重点となる平成27年度全国高P連大会岩手大会については、▽実行委員会部門ごとに業務を把握する▽福井大会（平成26年8月21日～23日）を視察するなど、各単位PTAや関係機関との連携を通して計画的に進めていくことを確認しました。同岩手大会は「未来圏からの風をつかめ！」新時代を担う君たちと共に「〜」をテーマに、平成27年8月19日から21日までの3日間、盛岡市と滝沢市で開催され、芝浦工業大学学長の村上雅人氏（盛岡市出身）の基調講演のほか、全国高P連研究発表、6つの分科会が予定されています。

研究協議後の講演から

演題「岩手にこだわり、岩手を伝える」

講師 野口 純氏

（岩手日報社常務取締役 企画・制作担当）



昭和48年岩手日報社入社以来、市政、福祉医療、自然保護、環境、経済など幅広い分野を担当されてきました。東京教育大学時代の教育実習の時、「岩手のきれいな雪や海の話をするシーンとなった」

総会に引き続き、研究協議（行政説明）が行われ、県教育委員会事務局学校教育指導主事の佐々木淳一氏が「情報モラルについて」のテーマで説明。インターネット・スマートフォンをめぐる問題に、①ネット依存②人間関係のトラブル③犯罪被害があり、なかでも携帯・スマートフォンを持ち始めた高校1年生のトラブルが目立つとのこと。佐々木氏は「今、どんなことが問題になっているか、大人が知識を持つことが大事。一人で悩んでいる子も多いので、家庭や学校などで大人に相談できる体制を作っていきたい」と話しました。

と、子どもたちの心を引きつけた岩手の自然の魅力に触れ、また、県高校総体・インターハイでの本県高校生の活躍や、大学時代までスポーツを続けた人たちが岩手日報社社員として多く頑張っていることも紹介。東日本震災については、発生直後に沿岸の記者たちがどのような行動をしたかを話し、「何かが起きてからでは遅い。どこに行けばいいか普段から決めておくこと、準備する心が大事」と強調。「ひたすら岩手県、（出身地の）宮古市を思ってきた。こんな素晴らしい自然と心の豊かさを持っている県は、そうはない」と、岩手の魅力を語りました。

表彰受賞者

新役員

◆個人表彰



▲受賞者を代表して感謝状の贈呈を受ける
外谷隆司久慈高校PTA会長

盛岡第一 副会長 小笠原洋人
盛岡第二 会長 田中 眞理
盛岡北 会長 及川 敦
盛岡南 副会長 小野寺由美
不來方 副会長 島山 君男
盛岡工業 副会長 菊池 智志
盛岡農業 副会長 佐々木清美
盛岡工業 副会長 吉田 博任
盛岡商業 副会長 加藤 千秋
平 副会長 北條 義昭
盛岡商業 副会長 赤澤 義昭
平 副会長 吉田 靖昭
平 副会長 藤本 貢
紫波総合 副会長 藤本 和喜
盛岡市立 副会長 堂前 節子
盛岡市立 副会長 村松 宣子
花巻北 副会長 沼田 昭
花巻南 副会長 中村 桂子
花巻青雲 副会長 藤原 忠彦
花巻青雲 副会長 山岡 勝利

会長 内館 茂 (盛岡第二)
副会長 佐藤 達見 (盛岡南)
理事 高橋 雅彦 (盛岡第三)
理事 水野 勉 (種市)
理事 城野 司 (住田)
理事 高橋 清治 (金ヶ崎)
理事 昆 明美 (遠野緑峰)
理事 佐藤 浩徳 (大船渡)

理事 佐々木秀子 (盛岡第二)
理事 長澤 恵子 (雫石)
理事 高橋 幸二 (黒沢尻工)
理事 堀田 圭二 (花北青雲)
理事 阿部 一憲 (水沢工業)
理事 菊地 松夫 (一関第一)
理事 佐藤 浩徳 (大船渡)
理事 佐々木慶一 (大槌)

大迫 剛
西賀 千田 長栄
遠野 金田 一文隆
遠野 菊池 敦子
水沢 川口 澄人
杜陵 畑山 千尋
水沢 金森 千尋
水沢 清原 千秋
水沢 佐々木三氏夫
前沢 佐藤 初雄
金ヶ崎 内田 和良
岩谷 佐藤 直子
一関 菅原 直子
大船 佐藤 良行
大船 吉田 仁一
大船 山口 徹
大船 新沼 英明
大船 大浦 優子
住田 皆川 繁雄
釜石 菊池 公男
釜石 千葉 仁
山田 山根 康子
宮古 北村 昌進
宮古 鳥居 昌子
宮古 本田 泰三
宮古 中村 克美
宮古 上田 牧子
久慈 外谷 隆司
久慈 藤森 千夏
久慈 小野寺 勝美
久慈 澤里 幸助

平成25年度岩手県高等学校PTA連合会第18回広報紙コンクール入賞校

◆優秀賞	水沢工業 水工2013PTA会報 第121号	(東北地区優秀賞)☆
◆優良賞	黒沢尻北 黒陵 PTA会報 第124号	(東北地区優秀賞)☆
	水沢商業 水商 PTA会報 第81号	(東北地区優良賞)☆
	盛岡第一 白聖PTA会報 第93号	
	花北青雲 花北青雲 PTA会報 第87号	
	一関第二 PTA会報 第19号	
	大船渡 さかみち 第85号	
	盛岡聴覚支援 PTA通信 第112号	

☆印:東北地区広報紙コンクールへの推薦校

理事 横澤 稔秋 (沼宮内)
理事 小松 聡純 (伊保内)
理事 工藤 優子 (盛岡第二)
理事 高橋 宏 (西和賀)
理事 松尾 正弘 (前会長)
理事 高橋 重信 (元会長)
理事 高橋 廣至 (校長協会長)

顧問 高橋 廣至 (校長協会長)

理事 伊保内 丸橋美智男
理事 福岡浄法寺 館山 幸広
理事 福岡工業 沢田 光広
理事 一戸 田中 辰也
理事 沼宮内 大卷 一人
理事 葛巻 土谷 典雄



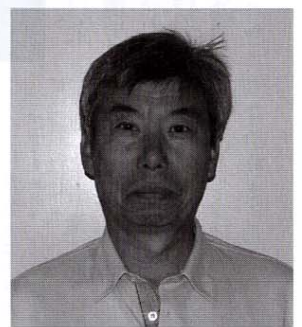
▲花壇再生整備事業の様子

9月にはPTA全体の研修旅行も企画し、こうした活動を通して保護者同士の交流を深めることが、子どもと向き合うことであると信じて活動して参りたいと思います。

活動を通して子どもと向き合う

本校は、創立から41年目を迎え、沿岸地域の工業教育の振興及びものづくり貢献できる技術者を育てることを目的に、機械科、電気電子科、建築設備科を設置学科に置く専門校です。

昨年は創立40周年記念行事を開催することができ、PTAとしては記念工業祭で母親委員会を中心に「クレープ作り・パザール・餅まき・野外ライブ」を実施し、多くの県内外の方々に被災地から元気に頑張っている姿をお見せすることができました。皆様からご支援を頂きながら校舎・実習施設の復旧・復興、そして環境整備を進めることができましたことに心より感謝申し上げます。



岩手県立宮古工業高等学校 PTA会長 伊藤 正

岩手県立遠野高等学校 PTA会長 阿部 順郎



本校PTAの母親委員会では、学校の体育祭の初日に「応援豚汁」をつくって生徒たちにふるまっています。今年度も6月19日に体育祭が開催されましたが、前日から材料の買い出し、鍋やガスボンベの手配、同窓会館での下準備と大忙しでした。なにせ五百食の準備ですから、ふだん家庭で行っている食事の準備とは訳が違います。体育祭当日は快晴の絶好の体育祭日和でした。大鍋がぐつぐつ煮えてくると、競技を終えてお腹を空かせた生徒たちが続々と食べに来てくれました。ひとりで2杯、3杯とおかわりをしてくる生徒も多数いたため、準備していた大鍋は次々と空になっていきました。普段は自分の子ども以外と話す機会もあまりありませんがこの日ばかりは豚汁を介して高校生たちといろいろな会話をすることができました。6月21日にはお隣の遠野緑峰高校さん

▲一杯、ください

▶平成26年度震災復興支援ポスターコンクール
優秀賞 岩手県立久慈高等学校
小室 好

請求なければ支払いなし

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA(学校)単位で加入する制度で制度発足以来13年目となりました。

〈加入状況〉全 国 1,921校 1,147,451人
岩手県 69校 29,037人

〈事故の際は〉全高P連賠償責任補償制度事故受付電話
0120-119-110

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉4月

Aプラン(病氣補償あり) 64校 2,712人
Bプラン(病氣補償なし) 63校 599人
Cプラン(自転車重点型) 64校 1,388人

〈引き受け保険会社〉

○AIU保険会社盛岡支店

TEL019(653)1411 FAX019(623)3541



▶平成26年度震災復興支援標語コンクール優秀賞
岩手県立盛岡第一高等学校
小岩 千夏



のPTAが主催する「お菓子づくり講習会」に、本校の母親委員会から5人参加しました。また、8月末には本校の文化祭である鍋城祭が開催され今年度も母親委員会主催でバザーを実施し、売上金を被災地に寄付する予定になっております。私たちがPTAを含め、保護者が明るく元気に活動していくことが、学校を、地域を、ひいては岩手県を元気にしていくのだと思います。

おらほのPTA



▲三高祭コーヒーコーナー

これからの生徒たちへの支援活動を充実させていきたいと思っています。国立大学施設を訪問させていたでいます。このコーナーは、会員間の交流を深めています。毎年開催している「研修旅行」は、東北の国立大学施設を訪問させていたでいます。このコーナーは、会員間の交流を深めています。毎年開催している「研修旅行」は、東北の国立大学施設を訪問させていたでいます。

平成23年度から文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けました。これは、未来を担い国際的に通用する科学技術系人材の育成が狙いで、本校は独自のプログラムに全校を挙げて取り組んでおり、各方面から高い評価を得ています。PTAの組織体制は、総会・理事会とともに、総務、健全育成、進路対策、広報、母親の各委員会と構成しています。中でも健全育成委員会は「登校時一声運動・マナーアップ運動」を、ここ数年会員と先生方が連携し取り組んでいます。学校前や駅、大きな交差点に立ち挨拶等の声掛けをし、生徒が多く利用する電車やバスに実際に乗り生徒たちの利用時のマナーを確認し指導しています。

すべては子供たちのために

岩手県立盛岡第三高等学校 PTA会長

水野雅彦



本校は岩手県の中核校として創立から51年、時代と社会のリーダーとなる人間の育成を目指し「文武不岐」を掲げる進学校です。教育目標は、自主性に富み、高い志を持ち、誠意と信頼で豊かな関係を築き合う、友愛に満ちた人間の形成です。また時代と社会の未来を担う「瞳輝くリーダー」を育てる「学校」を実現できる「夢を叶える学校」を目指しています。

第65回全国高P連岩手大会まで、あと1年

平成27年8月19日(水)～21日(金)に盛岡市・滝沢市で開催される「第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会」まで、あと1年となりました。

今年度、実行委員会の組織を新たに起ち上げ、7月15日(火)サンセール盛岡において約60人が出席して実行委員会企画運営委員会が開催されました。各専門部・各班の業務を確認し、今後の進め方について話し合いました。また、今年8月21日(木)～23日(土)に開催される福井大会の視察、閉会式でのPR活動に

についても話し合いました。実行委員となる方々にとつてはこれからの本格的な準備でたいへん忙しい1年になることとされています。参加者1万人規模の大会は、盛岡でも数少ない大規模な大会です。大会の成功をめざすとともに、全国から参加されたいと考えるPTAの方々を温かく迎えたいと考えております。ぜひ会員の皆様のご協力をお願いいたします。

大会のメインテーマを「未来圏からの風をつかめ!」、サブテーマを「新時代を担う君たちと共に」としました。

宮沢賢治は「生徒諸君に寄せる」という詩の中で「未来圏から吹いてくる透明な清潔な風」という表現で子どもたちに進むべき未来への想像をかきたてています。私たち親もこれからの時代を担う子どもたちと共に未来について真剣に考えていきたいと思っています。

大会概要

8月19日(水) 前日会議

(午後)・研修委員会、分科会別会議、全国事務局長会議
大会運営会議、歓迎レセプション

8月20日(木) 大会第1日目

(午前)・開 会 式

・基調講演 講師:村上雅人 氏(芝浦工業大学学長)
主会場:岩手産業文化センター(アビオ)、副会場:盛岡市アイスアリーナ

(午後)・分 科 会

会場:岩手産業文化センター、盛岡市アイスアリーナ、県民会館、盛岡市民文化ホール、都南文化会館、グランドホテル、メトロポリタン盛岡ニューウィング

[分科会テーマ]

- ①全国高P連研究発表全高P連研究発表(～青少年の健全育成に係る研究発表～)
- ②第1分科会 学校教育とPTA(～「生きる力」を育む教育とPTA活動～)
- ③第2分科会 進路指導とPTA(～「キャリア教育」の推進とPTA活動～)
- ④第3分科会 生徒指導とPTA(～規範意識の醸成とPTA活動～)
- ⑤第4分科会 家庭教育とPTA(～家庭教育の役割とPTA活動～)
- ⑥特別第1分科会 情報化社会と教育(～スマートフォン依存と若者の生活スタイル～)
- ⑦特別第2分科会 防災教育・復興教育(～「防災教育」・「復興教育」の推進について～)

8月21日(金) 大会第2日目

(午前)・記念講演 講師:大友啓史 氏(映画監督)

・閉 会 式

主会場:岩手産業文化センター(アビオ)、副会場:盛岡市アイスアリーナ



◀大会ポスター
戸田 遥(盛岡第一)

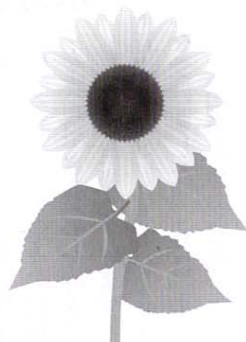


▲シンボルマーク 鎌田碧衣(盛岡第一)

編集後記

人口減少問題が一際クローズアップされる中、岩手県の高校においても統合やクラス減などその影響が出ています。先の高校総体をもって部活動を引退した3年生は将来の夢に向かってすでに走り出しています。▼そのような姿を見るにつけ震災復興・地域振興など、次代を担う子どもたちの夢の実現のためにPTAが率先してサポートし、地域の担い手育成に励んでいかなければならないと強く思う今日この頃です。▼6月18日に第1回調査広報委員会が開催されました。今後、調査広報委員会が開催されました。今後も広報誌「ポロニア」にて情報発信に努めて参りたいと思います。▼ご多忙中にもかかわらず、原稿の執筆に快くご協力いただきました皆様、厚く御礼申し上げます。

(調査広報委員長・佐藤浩徳)



〔編集委員〕調査広報委員会

委員長 水野 司(住田)
副委員長 佐藤 浩徳(大船度)
委員 川村 司(盛岡市立)
中鉢 謙郎(一関工業)
太田 真弓(久慈工業)

◇事務局

金 友和(住田)
高橋 秀幸(県高P連)
木村 智子(県高P連)